



テーマ Theme 『中山道』について知ろう
（『中山道ウォーク』にそなえて）

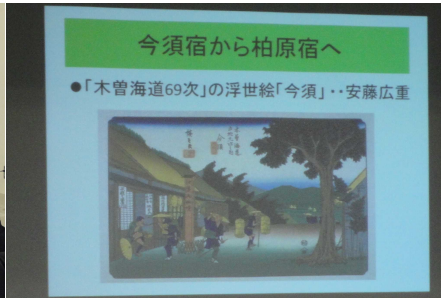
学校名 School name 米原市立米原中学校（1年生）

講師等 Lecturer etc. 米原観光ボランティアガイド協会

実施日 Date 平成26年10月22日

教科等 Subject 総合的な学習の時間

授業 Class



米原中学校の「中山道ウォーク2014」は、1年生が「関ヶ原→今須→柏原→醒井→番場→学校」の約21kmの中山道を歩いて学ぶ授業です。その事前学習に、米原観光ボランティアガイド協会の方にお越しいただき、歴史や見どころなどを教えていただきました。江戸時代の大幹線道路の一つであった中山道。江戸（日本橋）～京都（三条大橋）を結ぶ約534kmの中山道には、69次の宿場があります。今回は、実際に歩く関ヶ原→学校までの間で、本陣や脇本陣（大名やお供が泊まる場所）のこと、壬申の乱や関ヶ原の戦場にもなった場所のこと、美濃（岐阜）と近江（滋賀）の国境のところが「寝物語りの里」と呼ばれる由来、有名な歌川広重の浮世絵「木曾街道六十九次」で描かれているそれぞれの宿場のこと…等々の幅広い知識を、ポイントを絞ってお話いただきました。最後に、講師の方から「中山道にはいろいろな歴史がいっぱいつまっています。パンフレット等も見ながら、先人の残した歴史の足跡を見て、感じて、良い学習の旅にしてください。」とまとめてもらいました。

感想 Impression

生徒の感想 Impression from Children

- 写真がいっぱいあって、話がわかりやすかったです。中山道ウォークが楽しみになりました。
- 時間が足りなくて写真全部を見られなかったのは残念でした。
- 自分たちの身の周りにそんなに古いものが残っているなんて知りませんでした。

学校より Impression from school

講師の方は、今回のように生徒の前で話す経験は初めてということで、打ち合わせの段階では緊張をしておられたようですが、観光ガイドを日常的にされている経験もあり、当日は生徒の興味を引きつけながら話をされたのは、さすがだと感じました。時間が50分しかとれず、準備をいただいた内容を全てこなすことができなかったのは残念でしたが、何よりも嬉しかったのは、関ヶ原から米原まで歩くという今回のコースに沿って、見どころを紹介する写真を準備していただいたことです。生徒はイメージをしやすかったように思います。

講師より Impression from lecturer

多くは他府県や他市町の人にもふるさと米原の名所旧跡を案内している観光ガイドですが、このいい機会に、地元の多感な子供たちにこそ故郷のすばらしさをわかってもらいたいと努めました。それが自信となり力となって今後の大きな飛躍を生み、しっかりした地元の担い手、日本の担い手に成長してくれることを願うからです。中山道の名所に関わる事跡は歴史的な事柄が多いので、生徒たちの既存の知識と結びつけ、できるだけ難しく思わせず、また遠い世界のことと思わせないようにと苦しみました。生徒たちは、合間の問いかけによく反応してくれ、前を見て話を聞き、後で質問に来る子や握手を求めてくる子がいて、成果を得たものと思っています。

メッセージ

滋賀県、特に米原市には誇るべき数々の文化遺産があります。それら郷土の誇りをしっかり学び、自己の自信として、今後の飛躍のバネとしてほしいと思います。また、曳山子供歌舞伎をはじめ、先人の残した伝統を守り、後世に伝え、後世の人にもまた米原に生まれてよかったと思えるようふるさとづくりに役割を果たしてほしいと思います。生涯の思い出となるすばらしい中山道ウォークにしてください。